

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	710	輸入急増農産物対応特別対策事業	01	01	一般会計
基本施策	43	伊賀ブランドの価値を高め、売り出す。	06	06	農林業費
			01	01	農業費
			03	03	農業振興費
担当部課名	産業振興部 農林政策課		114	114	輸入急増農産物対応特別対策事業
作成者氏名	光岡 菊郎	連絡先	22-9666	01	輸入急増農産物対応特別対策事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
事業の目的	玉ねぎ栽培志向農家	急増する輸入農産物に対応し、自給率向上を図るため、玉ねぎを中心とした国内農産物の増産を図り産地化を目指します。栽培団地化によって地域農業の活性化を図ることができます。			
本年事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 産地改革推進協議会の開催 栽培暦の作成と配布 栽培農家拡大用チラシ作成と配布 栽培技術研修会の開催 作付け現地研修会 				
開始年度	平成 13 年度	終了年度	平成 21 年度	根拠法令・要綱等	強い農業づくり交付金交付要綱

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.2	0.2	0.2
人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	600	600	600
需用費	565	500	500
報償費	30	60	60
旅費		30	30
その他	5	10	10
合計(A+B)	2,040	2,040	2,040
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金	300	300	300
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	1,740	1,740	1,740
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
産地改革推進協議会の開催	回	2	3	3			
栽培技術研修会の開催	回	1	2	2			
栽培暦・栽培農家拡大チラシ作成と配布	枚	400	400	400			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
玉ねぎ栽培面積	推進組織を有効活用し、収益試算等を明記して生産振興を図るため、栽培面積を指標とします。	ha	11.5 目標 (12)	12.5	13.5
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

栽培農家戸数については、当初から大きく増加し、1戸当りの栽培面積も増加しました。しかしながら、土壌・品種等により生産量が左右され生産地域にあった品種選択が必要です。また、移植・収穫作業の省力化(共同作業や機械の共同利用等)も課題です。

評価	必要性	4	それぞれの地域での合意形成のもとに、産地化を目指した農産物の生産に取り組む意欲が高まっています。	総合評価
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	3		
				A